

# 読書活動推進NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



## あづま号がやってきた! ~明和小学校~

5月28日(木)、明和小学校を訪問し、県立移動図書館「あづま号」の様子取材しました。

「あづま号」とは、主に県内の図書館未設置町村を巡回し、読書施設の運営相談・図書館活動の促進・読書グループの育成等にあたっている県立図書館所属の移動図書館のことで。

児童は「本物の図書館みたいで、本がたくさんある!」あづま号を初めて見て、体験する1年生の感激の声が印象的でした。あづま号の活用により子供たちの読書活動の充実が図られています。



### <明和小学校教諭より>

低学年の児童は、読書というよりも見ることが中心になっていますが、あづま号が来ることを楽しみにしていました。これを機に、読書の楽しさを経験してくれると嬉しいです。

### こんな本を借りました!

#### 『ブナ林からの贈りもの』

文:熊谷 榎 写真:石橋睦美 出版社:世界文化社

ある児童の手には「ブナ林からの贈りもの」という本が取られていたので、児童に話を聞いてみました。

なぜその本を選んだかを聞いたところ、「只見町のブナ林は、季節によって色が違いとてもきれいです。他のブナ林との違いを知りたくて借りました。」と力強く話してくれました。

只見町の自然の素晴らしさを実感していることが素晴らしいですね。



### 校長室図書コーナー!

今年度より、校長室に図書コーナーを開設していました。校長室にある本は、荒川校長先生のお子さんが読んでいた本を持ってきて貸し出しをしているそうです。

子どもたちの読書活動の一助になればとのことでした。読書活動の素晴らしい取組をうかがうことができました。

校長室図書コーナー! ⇒



あづま号の図書は、福島県立図書館のあづま号用書庫にある膨大な図書の中から、司書によって選ばれます。今回は、新刊を1箱準備したとのことでした。子供たちが興味をもって読書活動に取り組んでもらえるよう、本を選んでいるとのことでした。

「今回、只見町には3,000冊ほどの本を持って来ました。いつもたくさん借りていただいているので、前回よりも多く持ってきました。」と主任司書の神谷さん。自治体や学校の要望に合わせて選書をしてくれる心遣いが嬉しいです。

普段見られないあづま号用書庫の中です! ⇒

